

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月6日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 AOKIホールディングス

コード番号 8214 URL <http://www.aoki-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 青木 拓憲

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 中村 憲侍

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 045-941-4888

平成21年12月7日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	57,908	1.5	1,250	9.1	1,708	5.7	918	657.0
21年3月期第2四半期	58,803		1,145		1,616		121	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	21.52	
21年3月期第2四半期	2.63	2.63

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	148,574	95,406	63.8	2,222.34
21年3月期	153,530	94,712	61.4	2,207.90

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 94,836百万円 21年3月期 94,221百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		15.00		15.00	30.00
22年3月期		15.00			
22年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	129,720	1.8	7,800	19.3	8,700	17.6	3,400	2.5	79.67

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご参照ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更	無
以外の変更	無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	49,124,752株	21年3月期	49,124,752株
期末自己株式数	22年3月期第2四半期	6,450,746株	21年3月期	6,449,846株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	42,674,440株	21年3月期第2四半期	46,149,276株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記の業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提等については、4ページ[定性的情報・財務諸表等]3.連結業績予想に関する定性的情報及び平成21年11月5日に開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、急激な景気減速から底打ち感が見られるなか、政府の景気対策等により一部で先行きに明るい兆しが見えるものの、雇用情勢や所得環境は引き続き厳しい状況で推移しており、個人消費についても、特に衣料関連は先行きの見えない厳しい状況が続いております。

このような厳しい環境のなかで、当社グループは各事業において下記のような諸施策を実施いたしました結果、売上高は579億8百万円(前年同期比1.5%減)、営業利益は12億50百万円(前年同期比9.1%増)、経常利益は17億8百万円(前年同期比5.7%増)、四半期純利益は9億18百万円(前年同期比657.0%増)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、以下のとおりです。

(ファッション事業)

AOKIでは、経済環境やお客ニーズの変化に対応し、時代にあった新商品の開発や都心への出店等を推進し、顧客満足度向上に努めてまいりました。

商品・営業面におきましては、経済性や環境に配慮し、洗濯機で手軽に丸洗いできる「プレミアムウォッシュスーツ」、涼しく快適な着心地の「ドライクールスーツ」等の機能商品を軸とし、テレビCM、チラシ、演出を強化いたしました。また5年目を迎えすっかり浸透したクールビズキャンペーンでは、ワイシャツのほか、ソックスや肌着等の小物に至るまでクールビズ関連の品揃えをさらに充実いたしました。店舗面では、今後の出店戦略において重要な地域である東京都心エリアと九州・福岡を含め14店舗を新規出店し、いずれの店舗も好調に推移いたしました。また移転や建替えの3店舗を閉鎖した結果、当第2四半期末の店舗数は、424店舗(前期末413店舗)となりました。

ORIHICA(オリヒカ)は、20代から30代のニューファミリーをコアターゲットとし、着回しを重視した新しいビジネス&ビジカジスタイルを提案する商品企画・開発を継続し、ショッピングセンター及び駅ビル、路面店の3タイプの標準型の磨き上げに注力いたしました。また都心路面店、初の駅ビルを含め4店舗を新規出店した結果、当第2四半期末の店舗数は、49店舗(前期末45店舗)となっております。

カジュアル衣料専門店M/X(エムエックス)は、平成21年10月1日に株式会社AOKIと合併し、エムエックス事業部としてスタートいたしました。

これらの結果、新規出店店舗や機能商品は順調に推移し、また経費削減等に注力いたしましたが、急激な景気減速によるお客様の慎重なお買い物動向等により、スーツ等の1品単価の低下に加えお客様の数にも苦戦した結果、売上高は358億32百万円(前年同期比4.1%減)、営業損失は6億73百万円(前年同期は、19百万円の営業利益)となりました。

(アニヴェルセル・ブライダル事業)

ゲストハウスウエディングスタイルの挙式披露宴施設を展開している株式会社ラヴィスは、すべてのお客様に心からご満足いただけるブライダルサービスをご提供するため、引き続き人材育成に注力するとともに、既存店強化の諸施策を実施したことにより施行組数の増加につながりました。また、お客様のニーズに対応しパルティール長野迎賓館、パルティール大阪迎賓館のリニューアルを実施いたしました。

これらの結果、売上高は112億57百万円(前年同期比6.5%増)、営業利益は10億69百万円(前年同期比77.2%増)となりました。

(エンターテイメント事業)

カラオケルーム運営事業は、接客力向上や店舗美化を徹底するとともに、夏季商戦に焦点をあてた諸施策を実施し、営業時間の延長や季節限定メニューの投入により、お客様単価は前年を維持できましたが、景気の低迷により深夜帯を中心とした社会人の集客に苦戦いたしました。複合カフェ運営事業は、顧客満足度向上のための施策として、季節限定メニューを投入したほか、モーニングやランチメニューの実施により30代から50代の社会人の利用が増加し、フード売上が好調に推移いたしましたが、冷夏の影響等により避暑を目的とした来店数が減少いたしました。店舗面では、カラオケルーム運営事業で新たな出店戦略となる都心立地の下北沢店、大井町駅前店の2店舗を含む4店舗、複合カフェ運営事業で9店舗を新規出店する一方、1店舗を閉鎖いたしました。また両事業で合計27店舗のリニューアルを実施いたしました。この結果、当第2四半期末の店舗数はカラオケルーム運営事業で111店舗(前期末107店舗)、複合カフェ運営事業で118店舗(前期末110店舗)となりました。

これらの結果、既存店売上高はやや苦戦したものの、新規出店効果や徹底した経費管理により売上高は108億25百万円（前年同期比0.6%減）、営業利益は7億58百万円（前年同期比25.7%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ49億55百万円減少し、1,485億74百万円となりました。

流動資産は、設備投資や法人税等の支払い等により現金及び預金が54億34百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ50億50百万円減少いたしました。固定資産は、差入保証金の返還等により2億52百万円減少する一方、新規出店等により敷金が4億97百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ94百万円増加いたしました。

流動負債は、運転資金のための短期借入金が64億円増加した一方、法人税等の支払いにより未払法人税等が37億73百万円、季節的要因等による支払手形及び買掛金が33億23百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ17億90百万円減少いたしました。固定負債は、長期借入金が33億96百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ38億60百万円減少いたしました。

純資産の部は、投資有価証券の時価評価によりその他有価証券評価差額金が3億36百万円、四半期純利益等による利益剰余金が2億78百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ6億94百万円増加しております。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ49億34百万円減少し、93億75百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、46億25百万円の支出となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が11億60百万円、減価償却費が25億23百万円となった一方、仕入債務の減少額が30億70百万円及び法人税等の支払額が53億6百万円となったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、18億51百万円の支出となりました。これは主に、新規出店に伴う有形固定資産の取得22億8百万円の支出によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、15億41百万円の収入となりました。これは主に、長期借入金の返済36億1百万円、配当金の支払額6億39百万円及び社債の償還4億10百万円を支出する一方、運転資金のための短期借入金が64億円増加したことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の実績をベースに、足元の状況等を勘案し慎重に見積もった結果、平成21年5月15日に開示いたしました業績予想の売上高を修正しております。なお、営業利益、経常利益及び当期純利益は修正しておりません。詳細は平成21年11月5日に開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また、セグメント別には見直しを行い、以下のとおり予想しております。

(単位：百万円)

	ファッション事業	アニヴェルセル・ブライダル事業	エンターテイメント事業	その他	合計
売上高	84,590	22,730	22,400		129,720
前期比(%)	96.9	99.7	102.0		98.2
営業利益	4,425	2,252	1,210	87	7,800
前期比(%)	74.3	106.3	78.3		80.7

(注) エンターテイメント事業は、出店計画を見直し年間33店舗を39店舗に修正したため、営業利益を下方修正しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法)

繰延税金資産の回収可能性の判断については、当社及び一部の連結子会社において、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

(税金費用の計算)

税金費用については、一部の連結子会社において当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5.【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,375	14,810
売掛金	2,099	4,816
たな卸資産	17,281	15,900
その他	6,185	4,466
貸倒引当金	3	5
流動資産合計	34,938	39,989
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	39,931	40,033
土地	26,563	26,563
その他(純額)	8,046	7,778
有形固定資産合計	74,542	74,375
無形固定資産		
投資その他の資産	4,005	4,074
差入保証金	10,231	10,483
敷金	15,592	15,095
その他	9,348	9,596
貸倒引当金	84	85
投資その他の資産合計	35,088	35,090
固定資産合計	113,636	113,541
資産合計	148,574	153,530
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,807	14,130
短期借入金	9,400	3,000
1年内償還予定の社債	1,080	820
1年内返済予定の長期借入金	6,642	6,847
未払法人税等	813	4,587
賞与引当金	1,194	1,182
役員賞与引当金	56	100
その他	6,030	7,147
流動負債合計	36,024	37,815
固定負債		
社債	-	670
長期借入金	10,603	14,000
退職給付引当金	546	463
役員退職慰労引当金	889	902
ポイント引当金	602	604
負ののれん	2,041	2,211
その他	2,458	2,150
固定負債合計	17,142	21,003
負債合計	53,167	58,818

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,282	23,282
資本剰余金	24,788	24,788
利益剰余金	53,632	53,354
自己株式	7,077	7,076
株主資本合計	94,626	94,348
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	209	127
評価・換算差額等合計	209	127
新株予約権	570	490
純資産合計	95,406	94,712
負債純資産合計	148,574	153,530

(2)【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	58,803	57,908
売上原価	32,712	32,269
売上総利益	26,091	25,639
販売費及び一般管理費	24,945	24,388
営業利益	1,145	1,250
営業外収益		
受取利息	52	39
受取配当金	57	35
不動産賃貸料	452	414
負ののれん償却額	487	486
その他	202	134
営業外収益合計	1,252	1,109
営業外費用		
支払利息	126	165
不動産賃貸費用	433	405
その他	220	80
営業外費用合計	780	651
経常利益	1,616	1,708
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1	1
固定資産売却益	1	-
投資有価証券売却益	-	147
補助金収入	-	41
役員退職慰労引当金戻入額	10	-
その他	-	9
特別利益合計	13	200
特別損失		
差入保証金・敷金解約損	49	51
固定資産除却損	77	220
投資有価証券評価損	71	-
減損損失	308	371
過年度退職給付費用	-	48
その他	27	56
特別損失合計	535	748
税金等調整前四半期純利益	1,095	1,160
法人税等	973	242
四半期純利益	121	918

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,095	1,160
減価償却費	2,350	2,523
減損損失	308	371
のれん償却額	378	292
負ののれん償却額	487	486
退職給付引当金の増減額(は減少)	10	83
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	23	12
ポイント引当金の増減額(は減少)	44	2
受取利息及び受取配当金	110	74
支払利息	126	165
差入保証金・敷金解約損	49	51
固定資産除却損	44	158
投資有価証券売却損益(は益)	-	147
投資有価証券評価損益(は益)	71	-
売上債権の増減額(は増加)	3,160	2,717
たな卸資産の増減額(は増加)	612	1,380
仕入債務の増減額(は減少)	3,437	3,070
その他	1,037	1,570
小計	1,868	779
利息及び配当金の受取額	86	47
利息の支払額	125	162
法人税等の支払額	4,670	5,306
法人税等の還付額	-	15
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,841	4,625
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	3,977	2,208
無形固定資産の取得による支出	284	86
敷金及び保証金の差入による支出	1,716	782
投資有価証券の取得による支出	291	-
投資有価証券の売却による収入	-	355
信託受益権の純増減額(は増加)	357	281
その他	176	590
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,735	1,851

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	4,000	6,400
長期借入金の返済による支出	3,100	3,601
社債の償還による支出	1,180	410
自己株式の処分による収入	22	-
自己株式の取得による支出	3	0
配当金の支払額	659	639
少数株主への配当金の支払額	37	-
その他	54	206
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,013	1,541
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	9,590	4,934
現金及び現金同等物の期首残高	17,254	14,310
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,663	9,375

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	ファッション事業 (百万円)	アニヴェルセル・ブライダル事業 (百万円)	エンターテイメント事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	37,343	10,567	10,891	58,803		58,803
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3	6	0	10	(10)	
計	37,347	10,573	10,892	58,814	(10)	58,803
営業利益	19	603	603	1,226	(80)	1,145

(注) 1 事業区分は、商品の種類・性質等の類似性を考慮して区別しております。

2 各事業区分の主要な内容

ファッション事業..... スーツ等主にメンズ衣料の販売

アニヴェルセル・ブライダル事業..... ブライダル関連のサービス等の提供

エンターテイメント事業..... カラオケルーム等のエンターテイメント施設の運営

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	ファッション事業 (百万円)	アニヴェルセル・ブライダル事業 (百万円)	エンターテイメント事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	35,828	11,253	10,825	57,908		57,908
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3	4	0	8	(8)	
計	35,832	11,257	10,825	57,916	(8)	57,908
営業利益又は営業損失()	673	1,069	758	1,154	96	1,250

(注) 1 事業区分は、商品の種類・性質等の類似性を考慮して区別しております。

2 各事業区分の主要な内容

ファッション事業..... スーツ等主にメンズ衣料の販売

アニヴェルセル・ブライダル事業..... ブライダル関連のサービス等の提供

エンターテイメント事業..... カラオケルーム等のエンターテイメント施設の運営

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)において本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)において海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。